

人文書・歴史書 ご担当者 様

有志舎の新刊です。2022年9月下旬刊行

近代日本海軍の政治経済史

—「軍備拡張計画」の展開とその影響—

池田憲隆 著

A5判・ハードカバー・308ページ 本体価格 6,000円

近代日本海軍の軍備拡張はなぜ始まったのか。

それは海軍にいかなる変化をもたらし、日本の政治・経済にどのような影響を与えたのか？

【目次】

- 序章 なぜ「軍備拡張計画」に着目するのか
- 第1章 長期軍備拡張計画の成立
- 第2章 長期計画に基づく海軍軍備拡張の開始
- 第3章 長期軍備拡張計画の再編と軍拡構想の変遷
- 第4章 再編海軍軍備拡張期における艦船整備の動向
- 第5章 艦船国内建造体制の形成と展開
- 補論 海軍省所管製鋼所案の再検討
- 終章 日清戦後軍備拡張の開始—海軍軍備長期計画の復活—

〈著者紹介〉池田憲隆（いけだ のりたか）：1955年生まれ、弘前大学名誉教授、日本近代史専攻。

～版元から～ 近代日本の草創期、海軍軍備拡張の実施にあたっては、まず一定の軍備構想に基づいた計画が策定される必要があり、それは国内政治や外交政策と密接な関連をもって成立していきました。また、その実施は軍事力の変化をもたらすとともに経済や多方面に大きな影響を与え、こんどは政治・外交にフィードバックされていきます。本書は、1883年に実施が始まる軍備拡張計画に主な焦点を当てて、成立経緯と実施経過およびその影響について日清戦争期まで分析し、海軍軍備拡張の政治・経済的意味を考えます。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊	近代日本海軍の政治経済史 —「軍備拡張計画」の展開とその影響— 池田憲隆 著	日本史（近代）
	ご担当	A5判・ハードカバー、308ページ 本体価格 6,000円	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。
	様	新刊 ISBN 978-4-908672-59-0 C3021	

ご注文は 有志舎 担当：永滝（ナガタキ）まで FAX：03-5929-7352

当社商品の取扱取次はトーハン・JRC・八木書店ですが、日販・楽天BNほか、いずれの取次でも左記取次経由で送品します。なお、JRCからも同じ注文書が重複して送られた場合は、この弊社あての注文書だけをご返信ください。